

“膵がん”のおはなし

●**膵臓(すいぞう)**は、体の中のおなかの真ん中やや背中側で、胃の後ろ側、第一・二腰椎の高さにあります。炎症やがんが神経に広がると腰痛や腰背部痛として自覚することがあります。すいぞうは血糖値を調整するホルモンを血の中に分泌する内分泌機能と、十二指腸へ消化酵素を分泌し食べ物を消化させる外分泌機能の働きを担っています。

●**膵癌(すいがん)**の死亡者数の推移は、ほぼ直線的に増加し年間4万人に到達し、膵がんは胃がんを抜いて悪性新生物の死因の3位になっています。しかし注意深く経過をみることで、早期に膵がんを発見できる方々がおられます。すいがんが発生することがハイリスクの方とその危険率が分かっています。まず、家族性膵がん家系とは膵がんは家系内発症が認められることが知られており、とくに、第一度近親者(親子または兄弟・姉妹)に2人以上の膵癌患者さんのいる家系の方に発症した膵癌を、家族性膵がんとして定義されており発症リスクは約8倍、また、家族性膵がんの基準には満たなくても、近親者に患者さんがいる場合、「散発性膵がん」と呼ばれ、発症するリスクは、2倍になると報告されています。さらに特に糖尿病のある方、糖尿病のコントロールが急に悪くなった方、慢性膵炎と言われた方、すいぞうに袋の病気があると言われた方も要注意です。このような方々も半年ごとの検査が推奨されていますので、かかりつけの医師にご相談ください。早期に小さな膵がんで見つければ、切除成績は極めて良好です。

●**膵癌の治療**は、化学療法や手術など専門的な治療が必要なため、大学病院・がんセンターなど専門施設で行われることが多いです。しかし治療期

間は長期化してきているため、長期治療が必要な場合は、患者さんの近くにある地域病院と連携して、患者さんの体調の維持治療とがん治療を並行して行うことも増えてきています。当院と東海大学医学部附属病院も緊密に連携をとった医療連携が行われています。

★膵がんは悪性度の高い腫瘍ですが、化学療法と有効な外科治療を組み合わせる集学的治療で長期生存する患者さんも増えてきており、治療をあきらめることなくご相談ください。

総合診療科 岡田 健一

膵臓(すいぞう)がんかも? チェックリスト

- 症状・検査結果の異常**
 - 症状: 腹痛 食欲不振 腹部膨満感 黄疸
 - 腰背部痛 体重減少(これらはほかの病気でも生じ得ます)
 - 血液検査(血中膵酵素): アミラーゼ高値 リパーゼ高値
 - 血液検査(がんマーカー): CA19-9高値、Dupan II (ツー)高値、Span- I (ワン)高値
 - 画像検査(CT、超音波など):
 - 膵管(すいかん)が太い(拡張している)と言われた
 - 膵臓に“ふくら(嚢胞)”があるとされた
 - 膵臓に“やせ(萎縮)”があるとされた
- 糖尿病がある方**
 - はじめて糖尿病が指摘された
 - 急に糖尿病のコントロールが不良になった
- 遺伝・持病・嗜好など**
 - 膵がんの家族がいる
 - 膵炎を発症した血縁者がいる
 - 乳癌、卵巣癌の既往歴がある(乳癌卵巣癌症候群)
 - ポイツ・ジエガーズ症候群と言われた
 - 家族性多発母斑黒色腫症候群と言われた
 - リンチ症候群と言われた
 - 大腸腺腫ポリポーシスと言われた
 - 慢性膵炎で通院している
 - 肥満がある(BMI30以上)
 - 喫煙している
 - 大量飲酒していたことがある
 - 塩素化炭化水素暴露に関わる職業についている

かかりつけ医にご相談ください



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950